



CAMPUS

Vol. 141

令和6年3月発行

2024 SPRING 奈良工業高等専門学校

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp



C contents

- 巻頭言 02
- 奈良高専学生アイデアチャレンジについて ... 03
- DitHub
- 起業家工房Hub×Fabから
革新的な「モノ」づくりにチャレンジしよう!
- 60周年事業について 04
- 卒業・修了予定者 進路状況
- 卒業・専攻科修了おめでとう! 05

- クラブ・同好会紹介(ソフトテニス部・システム開発研究会) ... 08
- 大和郡山市 郡山城天守台登城サポート事業に参加して
- 令和5年度後期 学生表彰者一覧 09
- 令和5年度 英語学習表彰者一覧
- 国際交流のススメ 10
- 高専女子フォーラムでの発表を通して
- 自転車運転マナー・ルールについて 11
- 学生支援センターから

I information

- ☆優勝! 全国高専ラグビーフットボール大会
- ☆近畿・全国高専英語プレコンの参加報告
- ☆キャンパスメンバーズ制度
- ☆卒業記念品の寄贈



奈良高専公式HP



奈良高専公式X (旧Twitter)



藤田 直幸

教務主事

願いは皆さんが成長すること

4月の全校集会で、「新年度は、一つの区切り、節目の時。新しい気持ちで、新しいスタートを切って欲しい。竹は、節がしっかりとあることで、雪や風に耐えてまっすぐと育つ。私たちも、節目、節目をしっかり意識することで、着実な成長ができる。この学年で、成し遂げたい事、挑戦したい事など、もう一度しっかりと考えて、節目を意識して新しい年度を開始して欲しい」と話しました。その後の全校集会でも「何かに挑戦し、成長しますか?」と問い続けて来ました。私たち教員にとって、学生の皆さんの成長を見ることは何にも代えがたい喜びです。あどけなさが残る1年生が、立派に(今は18歳になったけど)成人として羽ばたいていく姿に毎年感激しています。

フロムという哲学者は、財産、地位、名誉などを「持つこと(to have)」を大切にする生き方と、自分がどういう存在であるかの「あること(to be)」を大切にする生き方があると言っています¹⁾。「持つこと」を大切にする生き方では、「学ぶこと」は、知識を持つこと(そのままを受け入れ、覚えること)として位置付けられますが、「あること」を大切にする生き方では、「学ぶこと」を通じて、学んだ人自身が知識を自分のものとして吸収することで成長し、その人自身が変化します。新しいことを学んだ時に、それを覚えることも大切かもしれませんが、それにとどまらず、知識との出会いで学んだ人の世界が広がり、モノの見方や考え方が変わることができれば、本当の学びになっていると思います。5年間の高専生活の中で、どんな学びや体験があり、皆さん自身にどんな成長があったのか?それが大切だと思います。私も、みなさんに本当の学びをしてもらえるような教育、授業をめざしていますが、なかなか難しいなと感じています。

成長できるサイクル

では、成長するためには、何が必要か?「これを成し遂げたい」という願望を持ち、計画することだと青木氏は述べています²⁾。図1のように目標が無いと、現状に安住し、無計画な日々を過ごすことになり、無秩序な行動をとるようになります。進歩もない日々を過ごす中で、あきらめる癖や、うまくいかないことを人のせいにする自己正当化が生まれます。そして、何かを達成した経験がないために、自分に自信が持てず、失敗への恐れが生じます。その結果、目的や目標が持てないという悪いサイクルに陥ると述べておられます。それに対して、図2のように明確な願望を持てば、目標(成し遂げたか明確にわかるゴール)を

定めることができ、それを達成する計画を立て、その実行、そして目標や行動の確認のための振り返りをする事で、少しずつ何かを達成する経験につながります。この達成がつまり成長であり、その経験が自信につながり、さらに次の達成をしたいという願望を生み、成長を続けることができると述べられています。今、皆さんはどちらのサイクルに近い状態でしょうか?

ポートフォリオ教育が始まりました

目標を定めること(Plan)、それに従って行動し(Do)、その結果を振り返り(Check)、次の行動につなげていく(Action)は、PDCAサイクルと言われ、組織運営の基本とされています。成長するサイクルもそれと同じです。奈良高専では、これまで担任の先生を中心に、皆さんに目標を定めたり、計画を立てたり振り返りの機会を持ってもらう教育を実践してきました。それをさらに進めて、今年度からWebClassというツールを使って、学校全体で統一的に皆さんの成長のサイクルをサポートするポートフォリオ教育を進めることになりました。すでに、1月末と2月にポートフォリオへの入力を皆さんにお願いしています。

ポートフォリオとは、もともと「書類入れ」という意味の言葉です。芸術系の方が、自分の業績をPRする作品集として、ポートフォリオという言葉を使い始め、今は、いろいろな分野でこの言葉が使われています。教育の世界では、学生たちの学習の過程や成果などの記録や作品等を集めてそれを評価に活かす「ポートフォリオ評価」が始まっています。本校では、学生の成長のためのキャリア教育の一環としてポートフォリオ教育を導入します。①1年生の入学時、②前期中間、前期末、後期中間の試験後、③各学年の終了時にポートフォリオファイルへ入力してもらいます。例えば、1年生入学時には、「将来の夢」、「高専卒業後の進路」、「高専生活で達成したいこと」、「今年度頑張ること」を書いてもらいます。各試験終了時には、大まかな成績と「日頃の頑張り度」、「反省点」、「次回までの取り組み計画」を記入してもらいます。各学年終了時には、各学年の振り返りと次年度の目標設定とともに、汎用的技能(コミュニケーション、チームワーク、思考力、課題発見・問題解決力)、態度・指向性(主体性、自己理解・自己管理)および創造性について自己評価してもらいます。自己評価の結果がグラフとして表示されるので、自分の強みや成長の様子が分かります。皆さんのポートフォリオは、担任などの関係教員が閲覧可能で、教員からのコメント機能もあり、皆さんの成長を教員全体で見守っていきます。

成長するためのPDCAサイクルを実行するには、WebClassのポートフォリオは便利なツールです。皆さんが、このツールを使って、目標を定め、計画を立て、それを実行することで、自分の成長を少しでも実感してくれることができると思っています。

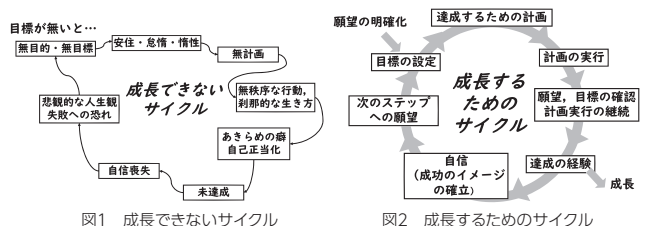


図1 成長できないサイクル

図2 成長するためのサイクル

参考文献
 1) エーリッヒ フロム:「生きるということ」(紀伊國屋書店)
 2) 青木 仁志:「成功する計画の立て方・実行の仕方」(アチーブメント出版)

通称学チャレと呼ばれるこの取り組みは、実践能力や課題解決能力を高めてもらうことを目的に、学生自らが掲げた目標を主体的に実施する計画を支援しています。今年度は本校が文部科学省「高専スタートアップ教育環境整備事業」に採択されたことから起業の要素を加え、採択件数も5倍の10件に拡大しました。奈良高専同窓会、奈良イノベーションコンソーシアムのご支援と、金融機関3行、奈良市職員様に審査され7月に採択された以下のプロジェクトは3月に学会場で成果報告会を行います。

- IoT アイデアものづくりキット
- ジェネレーティブデザインを用いた世界最小・最軽量のミニバイク製作
- TiTHub —技術ブログのチュートリアル自動作成—
- 害獣密着24時 -あなたの動きはまるわかりです-
- みやくみやくギネスプロジェクト
- 化学反応を利用したMAB-V制御機構の開発
- モル沸点上昇を用いた調理
- 車体制作プロジェクト
- アイアンマンプロジェクト
- ルンルンモップ

DitHub

情報工学科5年

岸本 千波矢・竹田 岳人・田中 陽 一朗

プログラミング学習では、演習形式で知識を身に付ける「チュートリアル」というものがよく使われています。私たちは、分かりやすいチュートリアルを簡単に作れるサービス「DitHub」の開発を行っています(プロジェクト開始当時のTitHubから改名)。

開発に関わるメンバーは同じクラスの3人から構成されています。きっかけは一昨年に出場したハッカソンで、そのとき応募した作品がDitHubの原型になりました。作品をブラッシュアップして世に出そうというときに学生チャレンジプロジェクトの話聞き、応募することにしました。

私たちのプロジェクトは、学生チャレンジプロジェクトによる支援制度の1つ「プロジェクトアドバイザー」を活用しています。この制度では、学校経由で学外の方にアドバイスを依頼することができます。僕たちは高いデザイン技術を持つ株式会社フラーの方々から週1回デザインについてアドバイスを頂いて、「分かりやすいチュートリアルを作れる」というDitHubの価値を高めることに役立っています。



起業家工房Hub×Fabから革新的な「モノ」づくりにチャレンジしよう!

—「スタートアップ教育環境整備事業施設紹介」(「起業家工房Hub×Fab」を主に)—

特命教授 スタートアップ教育環境整備事業担当 和田 任弘

皆さんは、「アントレプレナーシップ(entrepreneurship)」とは何か?と質問されたらどのように答えますか。皆さんの多くは、「起業家精神」、「新たな事業を創造し、リスクに立ち向かう精神・姿勢」、あるいは「イノベーション(innovation)をもたらす、新たな価値を創生するための思考・行動要素」と答えると思います。さらに、「アントレプレナーシップ教育を、実践するためにはどうしたら良いですか?」と質問されたらどのように答えますか。本校では、これまでもアントレプレナーシップ教育を推進するため取り組みがなされ、多く起業家OB、OGを輩出してきました。さらに、本校をスタートアップの教育拠点とし、アントレプレナーシップ教育を今まで以上に強力に加速的に推進するために「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業(文部科学省)」に採択され、教育環境整備の一つとしてスタートアップ人材育成に必要な「起業家工房Hub×Fab」が整備されましたので説明します。

起業家工房Hub×Fabの場所は、ものづくり実験実習棟の北西部・旧材力実験室にあります。主要設備の内、①DED金属3Dハイブリッド加工機LASERTEC 65(写真)、②プラズマカッター、③サンドブラスト、④卓上5軸加工機がスタートアップ教育環境整備事業で新たに導入されました。いずれもモノづくりに重要な設備ですが、紙面の関係で、ここでは、「DED金属3Dハイブリッド加工機LASERTEC 65」について説明します。この工作機械は、5軸マシンニングセンタにレーザー援用DED金属3D積層造形機能を組み込んだハイブリッド型工作機械です。すなわち、1台の工作機械で、5軸のフライス加工とレーザー援用金属3D積層造形が可能となる

ため、複雑形状部品の製造などさまざまな用途に威力を発揮します。この工作機械で何ができるか興味がある人、革新的な発想を実現したい人は、起業家工房Hub×Fabを訪ねて、運営学生スタッフ(本校学生、写真)に相談してください。

革新的な発想を思いついたら、起業家工房Hub×Fabで「モノ」づくりにチャレンジしませんか!運営学生スタッフが皆さんを待っています。詳細は、「起業家工房Hub×Fab利用ポスター(2023年度版)」を見てください。



2023年度運営学生スタッフ(撮影参加は希望者のみ。)

60周年事業について

創立60周年記念事業実行委員会委員長 小柴 孝

2024年4月、奈良高専は創立60周年を迎えます。

高度成長期において実践的技術者の育成を目的として高専制度は発足し、奈良高専は、その3期校として、1964年に創立されました。これまでに約10,000人の卒業生ならびに修了生(本科生、約9,000人、専攻科、約1,000人)を社会に輩出し、その活躍は、産業界等においても高く評価され、高専教育の礎となっています。そこで、創立60周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の奈良高専の発展ならびに充実を図るために以下のような記念事業を計画しました。いずれも、高専を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、主に学生諸君の活躍を支援するものです。詳細は、

<https://www.nara-k.ac.jp/event/NIT-nara-60th-Shuisho.pdf> でご覧いただき、趣旨等にご賛同いただくとともにご協力を賜りますよう、お願いいたします。

60周年記念事業
趣意書



- ① 記念誌の発行
- ② 記念植樹
- ③ 学生支援関連事業の実施、地域企業・産業界との連携強化
 - ・キャンパスの環境整備
 - ・キャリア教育の推進
 - ・グローバル教育活動の推進

卒業・修了予定者 進路状況

(令和6年1月31日現在)

令和5年度 第5学年卒業予定者 大学編入学等進学状況

区分	大学名・学部名	人数	
国立大学	長岡技術科学大学	工学部	7
	豊橋技術科学大学	工学部	8
	東京大学	工学部	1
	大阪大学	工学部	2
	筑波大学	基礎工学部	2
	千葉大学	情報学群	1
	東京工業大学	工学部	1
	神戸大学	生命理工学院	2
	岡山大学	工学部	1
	北見工業大学	工学部	1
	山形大学	工学部	1
	電気通信大学	情報理工学域	1
	福井大学	工学部	1
	三重大学	工学部	1
	京都工芸繊維大学	工学部	10
	奈良女子大学	生活環境学部	1
	島根大学	総合理工学部	1
	徳島大学	理工学部	1
	九州工業大学	工学部	1
	佐賀大学	理工学部	1
小計		48	
公立大学	大阪公立大学	工学部	3
	小計		3
私立大学	千葉工業大学	先進工学部	1
	東京電機大学	理工学部	1
	同志社大学	理工学部	1
	立命館大学	理工学部	6
	大阪成蹊大学	芸術学部	1
	奈良大学	文学部	1
小計		11	
高専専攻科	奈良工業高等専門学校	専攻科	35
	宇部工業高等専門学校	専攻科	1
小計		36	
合計		98	

令和5年度 第5学年卒業予定者 就職内定状況

企業名	人数	企業名	人数
アイリスオーヤマ	1	ダイキン情報システム	1
朝日ビルディング	1	ダイダン	1
アステック	1	大和ハウス工業	1
アステラス製薬	1	タカトリ	1
アルファシステムズ	1	DMG森精機	2
eBASE	1	東京エレクトロン	2
岩谷瓦斯	2	トーテックアメニティ	1
ANAベースメンテナンステクニクス	2	ドコモCS関西	1
ANAラインメンテナンステクニクス	1	ドリームキャリア	1
エクシオグループ	1	奈良交通	1
NECネットエスアイ	1	西日本旅客鉄道	1
NTTデータ	1	NISSHA	1
オプテージ	1	日東電工	1
花王	1	日本コルマー	1
関西電力送配電	1	日本電気硝子	1
キャノンマーケティングジャパン	1	ネクストビート	1
キャノンメディカルシステムズ	1	パナソニック	1
クオリカプス	1	パナソニック インダストリー	1
クボタ	1	パナソニックコネク	1
グリコマニュファクチャリングジャパン	1	P&Gイノベーション	1
呉竹	2	ファナック	2
Keigan	1	FIXER	1
KDDIエンジニアリング	1	フードテクノエンジニアリング	1
KSF	1	堀場テクノサービス	1
国立印刷局	1	本田技研工業	1
小松製作所	1	三井化学分析センター	1
サントリーホールディングス	1	三菱ガス化学	1
三洋化成工業	1	三菱ケミカル	1
JR西日本テクシア	1	三菱電機ビルソリューションズ	1
ジェイテクト	1	村田機械	1
JERA	1	村田製作所	1
資生堂ホネケーキ工業	1	森永乳業	1
島津プレジジョンテクノロジー	1	ヤマハモーターエンジニアリング	1
JALエンジニアリング	1	ロート製菓	2
ダイキン工業	1	合計	76

令和5年度 専攻科修了予定者 大学院合格状況

大学院名	研究科名	合格数
豊橋技術科学大学大学院	工学研究科	1
東北大学大学院	工学研究科	1
大阪大学大学院	工学研究科	2
筑波大学大学院	システム情報工学研究群	1
金沢大学大学院	自然科学研究科	1
神戸大学大学院	科学技術イノベーション研究科	1
京都工芸繊維大学大学院	工芸科学研究科	1
奈良女子大学大学院	人間文化総合科学研究科	1
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	10
合計		19

令和5年度 専攻科修了予定者 就職内定状況

企業名	内定数	企業名	内定数
アクア化学	1	日本電気硝子	1
大阪ガスネットワーク	1	パナソニックインダストリー	3
近畿車両	1	パナソニックエンターテイメント&コミュニケーション	1
クボタ	1	東日本電信電話	1
JFEプラントエンジニア	1	日立製作所	1
大陽日酸	1	村田製作所	1
日揮グローバル	1	奈良県職員	1
日東電工	1	合計	17





卒業おめでとう!



機械工学科5年 石田 夏輝

桜舞う季節に、初めて校門をくぐったあの日からもう5年になりました。

友人や知り合いが一人もいないという不安の中の始業。ただそれも初めだけ、打ち解けてすぐ毎日の登校が楽しみになりました。

課題にレポート、定期試験に部活動、そして卒業研究と、楽しいことも苦しいことも分かち合ってきたこれまで。2年は流行病もありしばらく会えない期間が続きましたが、再び校舎に集まった時はさらに結束を深めることが出来ました。

さて、私たちの高専生活で欠かせない話題といえばやはりスポーツ大会でしょう。年二回が予定通り行われたのは結



3年スポーツ大会



5年スポーツ大会

局最後の年だけでしたが、毎大会素晴らしい結果を残してきました。

私自身は特段何かをしてきたわけではありません。ですがその代わりに残してきた皆の活躍を写した写真や動画は、今でもあの時の高鳴りを思い起こさせます。

卒業の時を迎え、これから私たちの道は違えることとなります。皆と紡いだこの5年という月日はこの先を思えば短いものかもしれません。ですがまたこの先どこかで道が交わった時、懐かしみ笑い合える素敵な5年間だったと思います。

この道を共に駆け抜けた皆さんへ今一度大きな感謝を述べ、この文章を締めくりたいと思います。

5年間本当にありがとうございました。

機械工学科5年学級担任 酒井 史敏

ご卒業おめでとうございます。皆さんの高専生活は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、様々な行事は中止され、学びの機会も例年通りとはなりません。悩みや苦労もあり思うようにいかないことも多かったと思います。皆さんがこの状況を乗り越え、卒業を迎えられたことを心から嬉しく、また誇らしく思います。4月から始まる新たな生活の中でも多くの困難に直面することと思いますが、奈良高専で得た知識や経験を胸に、自分を見失うことなく、目標に向かって更に努力し続けてください。どんな成長をされるか楽しみにしています。

電気工学科5年 甲元 陸羽

1年生だった頃を思い出そうとすると、遙か昔のように感じます。それほど5年間は長く、密度の濃いものでした。入学当初は進級できるかどうか心配でしたが、先生方が分からないところを親身に教えてくださり、乗り越えることができました。学校生活にも慣れてきた頃、新型コロナウイルスの影響で2年生から始まる実験は全てオンラインになりました。実験は高専の学業で最も楽しみにしていたので、器具を触ることができず、ただ画面越しに見ているだけとなったことは非常に辛かったです。その分、対面の授業が

再開し、器具を触れるようになった実験は今でも記憶に残っています。数少ないスポーツ大会では、勝ちにこだわり過ぎず、楽しく笑い合ってきたことはこのクラスの良い特徴かなと思います。

ちょっとわがままなところもある個性の強いクラスでしたが、担任を持っていただいた松井先生、大谷先生、石飛先生をはじめ、先生方はいつもそばに寄り添って下さいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この5年間で学んだことを活かして、良い内容で先生方のところに名前が届くような人間になれるように精進します。最後に、私の学生生活に関わってくださった全ての人に感謝を申し上げます。



卒研発表の真っ只中



最後の体育授業

電気工学科5年学級担任 石飛 学

卒業おめでとう! みんなが入学してからの5年間、周りが劇的に変わったね。入学すぐに令和になり、オンラインが定着し、部活の休日の考え方も変わった。エネルギー問題をきっかけに物価が上昇し、マクドナルドとモスバーガーに価格差がなくなって、自販機の価格にもやっと慣れてきました。そんな中でも、クラスの中でケンカして仲直りしたり、進級ギリギリで走り回ってクリアしたり、部活に全力を注いだり、しっかり学生生活して卒業までたどり着いたね。日本も世界もさらに動きそうです。変化するとき新しい技術が生まれ、特にエンジニアが期待されます! 人のつながりを大事にして、変化を楽しむ勢いで頑張してほしい。



電子制御工学科5年 竹田 悠十

長いようで短い5年間でした。この高専生活では、様々な出会いや経験、学びがあったと思います。入学当初の15歳。新しい環境に浮かれながらも、多すぎる課題やレポートに翻弄されました。入学して一年が経つと、コロナ禍に入りました。この期間、少し怠けてしまったり、オンデマンド式の授業を溜めてしまったりということもありました。しかし、授業が終わったら、何人かで電話をしたりして、コロナ禍でも楽しかったのをよく覚えています。コロナの影響が弱まってからはもっと楽しくなりました。段々と緩くなっていく規制が待ちきれず、注意されたりもしました。そんなイレギュラーな学生生活でしたが、5年間留年しないようみんなが支えあって、卒業できたと思います。

この5年間色々な方にお世話になりました。仲良くしてくれた友人、勉強面以外でもお世話になった先生や先輩、



最後の体育

なにより20歳まで育ててくれた両親。本当にありがとうございました!また、みんなで集まれる日を楽しみにしています!!



5年秋季スポーツ大会

電子制御工学科5年学級担任 山口 和也

卒業、おめでとうございます。皆さんが在学中に体験したこと、感じたこと、様々あると思います。それは学業であったり課外活動であったり、あるいは学外での何かでも構いません。その中には、「これに何か意味があるのか」と思ったことがいくつかあったかもしれませんが、その瞬間にそう感じたことでも、長い人生の中で何かしらに役立つ可能性がある、私は考えています。ですので、在校中に経験したことを忘れずに、この先の人生に活かしてほしいと思います。もちろん、授業や実験で学んだことも、就職・進学関わらず、どんどん活用してください。今後の皆さんの活躍に期待しています。

情報工学科5年 山口 璃桜

いつの間にか卒論提出も済ませあとは卒業するだけという時期になってしまいました。友達との会話で出てくる話は「もう卒業か」、「やり残したことは何だろう」、「残り少ない高専生活をどう楽しもうか」というような話ばかりです。2年生のころから流行した新型コロナウイルスの影響で級友や先生方との交流も制限されていたためより時間の流れを早く感じたのかもしれません。遠隔授業が続いた時はどうなることかと思いましたが3、4、5年生と無事仲間に支えてもらいながらここまで来ることができました。5年生になってからは2年生で楽しめなかった分を取り戻すかのように研究室仲間とすごく大きなアイスを食べたり、研究室旅行に行ったり、ゲームをしたりと充実した生活を送ることができました。もちろん遊ぶだけではなく、研究が上手いかず悩んでいるときに励ましてくれたり、作成した資料に対してアドバイスをくれたりと様々なサポー



2019年社会工場見学

トをしてもらい、一年間通って大変お世話になりました。

最後にはなりますがこの5年間授業や研究だけでなくコンテスト参加へのサポート、部活などにおいて様々な支えをしてくださった先生や職員の方々、先輩方にお礼申し上げます。



2023スポーツ大会

情報工学科5年学級担任 松尾 賢一

ご卒業おめでとうございます。3年生から5年生まで担任をさせていただきました。1、2年の担任がしっかりと指導されたようで、ほとんど世話を焼く必要がないクラスでした。私が5年での進路担当ということもあり、皆さんが進学、就職のどちらを選んでも恥をかかないよう3年からクラスの重点目標を掲げてクラス運営に取り組んできました。結果的に重点目標に到達した学生も多くいました。この掲げていた重点目標は、進路先の大学や社会において、さらに自身が活躍していくための必須条件です。それを胸に刻んで頑張ってください。

物質化学工学科5年 谷 貴海大

1億円の使い道

「5年間というのはあっという間ですよ」

物質化学工学科に入学して初めての化学の授業で放たれた一言。「んなわけあるかい」と心の中でツッコんだあの日からもう、5年経とうとしている。立ち止まって後ろを振り返れば、肩書のないそれでいて数えきれない出来事を積み重ねた毎日だった。若さと無料のLINE 電話を武器に深夜までレポートと課題に取り組んだ日々がしみじみと思い出される。

元タレントの島田紳助さんは「お金持ち達は若い頃に戻れるなら、1億円で払うだろう。だから、若い人はポケットに1億円入っているのと同じ。」と言っていた。奈良高専生はこの1億円をレポートと課題そして卒業研究に支払ってきた。これらはその時は苦しく、大変で意味がないように感じる事もあった。しかし、今振り返ると、その時にしかできなかったことであり、もう二



令和4年秋季スポーツ大会

度と戻ってこない経験であり、必要な事だったと感じる。

4月からは5年間、1億円を共に支払った仲間が各々の道に進む。道の先で、出鼻をくじかれるかもしれない、足元をすくわれるかもしれない、しかし、1億円をこの上なく有意義に使った私達は意気揚々と大海に挑んでいきたい。

ランプがまだ燃えているうちに、人生を楽しみたまえ、
しばまないうちにバラの花を摘みたまえ。

ウステリ(詩人)



令和5年春季スポーツ大会

物質化学工学科5年学級担任 亀井 稔之

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

春から社会人として働く人、大学生・専攻科生として進学する人、それぞれの道を進むことになります。楽しいことも多いですが、苦労もあると思います。でも大丈夫です。皆さんは高専のカリキュラムを無事修めることができたのですから。どんなに苦しい状況でも、それを乗り越えた後には明るい未来が待っていることを皆さんは知っているはず。高専で培った力と出会った仲間を大切に、チャレンジとハードワークで素敵な人生を歩んでいってください。

専攻科 修了おめでとう!

システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年 松原 幹太

専攻科での生活は、課題や研究に取り組む内に、いつのまにか二年が過ぎていたという印象です。私にとって専攻科の最大のメリットは、発表の経験を多く積んだことで、発表に対する苦手意識を克服できたことです。自分の考えをうまく伝えるために試行錯誤したり、資料を作成するのは大変でしたが、間違いなく伝える力は身についたと思います。

最後にご指導いただいた先生方、支えてくれた家族に感謝します。ありがとうございました。

システム創成工学専攻 情報システムコース2年 渡邊 未来

15歳から7年間の長い高専生活が遂に終わりを告げようとしています。専攻科の2年間は特別研究や課外活動に精力的に取り組んできました。とびたてで2ヶ月間海外に研究留学に行ったなどを通して研究の楽しさや人とのつながりの大切さを学びました。この貴重な経験は、先生方の甚大なるご指導なくして、体験することはできませんでした。楽しい日々を送らせてくれた研究室のメンバー、同級生、7年間本当にありがとうございました!

専攻科長 中村 秀美

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。皆さんはこの7年間、コロナ禍の中、いろいろな制約のある中で耐えながらも努力を重ねてきました。それぞれ、新しいステージに進むこととなりますが、これからの時代は技術革新が急激に進み、社会のシステムが大きく変化することでしょう。世界情勢にも変化の激しい現在、この先に何が、どうすべきかを教えてくれる人はいません。自ら学び自ら考えるしかありません。皆さんには、自ら考え、やりたいことにチャレンジし続け、新しい時代を切り開いて欲しいと思います。皆さんの頑張りに期待しています。

システム創成工学専攻 電気電子システムコース2年 猪口 諄也

奈良高専に入学して7年の年月が経ち、高専生活も終わりを迎えました。入学当初と今の自分を比べてみると、色々な意味で大きくなったなと思います。学生生活では、なんども挫折を経験しましたが、仲間と一緒に乗り越えることができました。やはり、大切にすべきなのは仲間なんだと思える環境でした。最後になりましたが、長きにわたり支えていただいた先生方、事務の皆様、ありがとうございました。

物質創成工学専攻2年 大井 佑莉

7年間という途方もなく長いと思っていた時間は、蓋を開けてみれば素敵な思い出が詰まったあっという間の日々でした。特に専攻科では学科を超えた合同授業や研究活動を通じた学会発表など貴重な経験を積ませていただきました。

大変なことも多くありましたが、それを乗り越えることができたのは温かくご指導くださった先生方、共に歩んでくれた友人たちや後輩、支えてくれた両親のおかげです。本当にありがとうございました。



秋季学外研修





クラブ・同好会紹介



vol.29

体育部	文化部	同好会
アーチェリー 合気道 弓道 剣道 硬式テニス 硬式野球 サッカー 柔道 少林寺拳法 水泳	ソフトテニス 卓球 バスケットボール バドミントン ハンドボール バレーボール ラグビーフットボール 陸上競技	からくり 機械研究会 軽音楽 茶道 システム開発研究会 将棋 情報処理研究会 吹奏楽 美術 放送
		化学同好会 合唱同好会 クイズ研究会 現代視覚文化研究会 手芸同好会 生協学生同好会 数学同好会 電気技術研究会

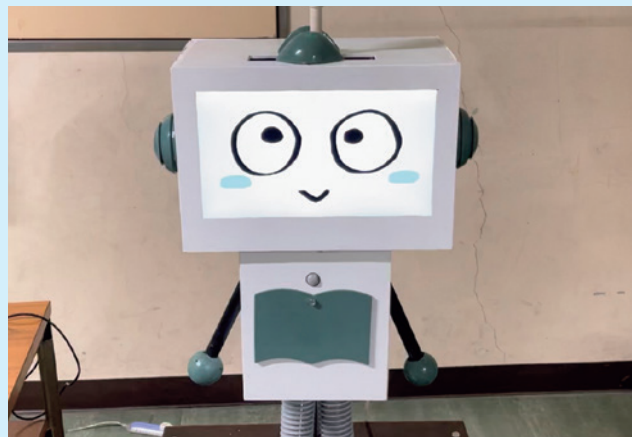


ソフトテニス部

機械工学科2年 菅野 舜

こんにちは、ソフトテニス部です。ソフトテニス部は、週5日(木、日は休み、土曜日は午前のみ)活動しています。学年関係なく部員同士の仲も良く、日々練習に励んでいます。他の部活にも所属したり、GECEP等で活動しながらソフトテニスを楽しんでいる部員も多くいます。

ソフトテニスは、基本的には2人1組のペアで試合を行うので、相方とコミュニケーションを取りながら、相手ペアとの駆け引きが楽しめます。特に、相方と立てた作戦が功を奏してポイントが取れた時はとても爽快です。経験の有無に関わらず、ソフトテニスと一緒に楽しみませんか？



システム開発研究会

電子制御工学科4年 加藤 太呂

こんにちは、システム開発研究会です。システム開発研究会ではものづくりに興味のある学生が集まり、様々なプロジェクトに取り組んでいます。プロジェクトの内容は「イオンモール大和郡山での小中学生向けロボット製作イベントの企画・運営」、「WRO (World Robot Olympiad) への参加」、「イオンモール大和郡山の金魚オブジェの電動化」、「生駒第二小学校のマスコットキャラクター『にしよロボくん』のリアルロボット製作」、など多岐にわたり、非常に面白いものが多いです。学生が主体となってプロジェクトを計画し、進める貴重な体験ができます。興味のある方はぜひ電制棟4F電子工学実験室に来てください。



大和郡山市 郡山城天守台登城サポート事業に参加して

物質化学工学科2年 佐藤 美々

私たち奈良高専野球部は郡山城で開催された大和郡山市郡山城天守台登城サポート事業に参加してきました。大和郡山市は史跡の本質的価値を広く共有していきたいと考えていましたが、文化財保護の観点から、階段や段差などのハード的なバリアフリー化には限界があり、移動等に車いすを必要とする障害をもった方には、天守台への登城は困難でした。この事業は、ソフト的なバリアフリーの取り組みとして、バリアフリーデーを設定し、天守台の階段に仮設スロープを設置してボランティアスタッフや市職員サポートのもとで障害をもった方にも天守台に登城し、展望を楽しんでもらうことを目的とした取り組みです。

道具を使って前から引き上げ、後ろからも押すという作戦で、キャスター(前輪)にロープを通して引き上げながら押していきましたが、車輪が動くのと引き上げるタイミングがズレてしまうと乗っている人を驚かせてしまったりして大変でした。さらに大変だったのが段差や仮設スロープの曲がり角を曲がる時です。前方の人と後方の人が声をかけながらタイヤが引っかからない

ように押していくのですが、自分が思っているよりも大きく外回りしないといけなかったりしてとても困難でした。ですが、最後まで登城した時はとても達成感があり、参加者の方々に喜んでもらえて嬉しかったです。このボランティアを通して感じたことは、私たちが普段障害なく歩いている道でも、車椅子で移動するには困難であることがとても多かったことから車椅子で移動することの難しさを体験することができました。このバリアフリー化を目的とした取り組みが増えて欲しいと思うし、今後このような体験があれば積極的に参加していきたいと思っています。



令和5年度後期 学生表彰者

優秀賞…………… 在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。
特別賞イ…………… 在学期間中、全国高専大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。なお、コロナ禍により中止となった令和2年度全国高専体育大会等に出場見込みであった者について、特別措置として、全国高専大会やそれに準じる大会に2回以上出場した者のうち、顧問や指導教員からそれらの大会に出場できたと推薦があった者も対象となります。
特別賞ロ…………… 全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。
特別賞ハ…………… ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。
特別賞ニ…………… 学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。
専攻科研究優秀賞…………… 専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

優秀賞(12名)

機械工学科5年	川崎孝太郎	小山 遼
電気工学科5年	一ノ宮 遼	鈴木誠二郎 BAT-ERDENE SHUIRBAT(シジレー)
電子制御工学科5年	荒井 将貴	川内 望蒼 MUHAMMAD ARIF FARHAN BIN ABD GHANI(アリフ)
情報工学科5年	石村 涼介	西 彦樹
物質化学工学科5年	長家 悠樹	山本くるみ

特別賞イ(24名)

機械工学科5年	大久保壮太郎	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第54・56・57回	出場
	金光 智史	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第54・56・57回	出場
	西前 若菜	全国高等専門学校体育大会	陸上競技	第56・58回	出場
	福田 僚汰	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第54・56・57回	出場
		全国高等専門学校ラグビーフットボール大会		第54回	優勝・第53回 出場
	横山 朋代	全国高等専門学校体育大会	卓球競技	第53・54回	出場
電気工学科5年	甲元 陸羽	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会		第50~52回・54回	優勝・第53回 出場
	棚野 太貴	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第54・56・57回	出場
	原 大河	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第56・57回	出場
	福田 侑司	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第56・57回	出場
	森本 貴哉	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第56・57回	出場
電子制御工学科5年	浅草 颯矢	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会		第50~52回・54回	優勝・第53回 出場
	木下 隼	全国高等専門学校体育大会	陸上競技	第54・56~58回	出場
	阪本 靖大	学生会活動	功労(学生会副会長2期)		
情報工学科5年	島岡 宏彰	学生会活動	功労(学生会長1期)		
	杉山 咲	学生会活動	功労(学生会会計3期)、情報工学科広報活動	功労	
	竹田 岳人	プログラミング各種大会	出場、学生会活動	功労(学生会書記2期)	
	田中陽一朗	学生会活動	功労(学生会副会長1期、書記2期)		
	藤本 光	全国高等専門学校プログラミングコンテスト	第32~34回	出場	他
	松田 蒼太	ゲームクリエイター甲子園	2023 総合賞佳作・2022 KEYクリエイション賞		他
	宮崎 直人	全国高等専門学校体育大会	ハンドボール競技	第54・56回	出場
	山口 璃桜	全国高等専門学校体育大会	テニス競技	第56~58回	出場
物質化学工学科5年	明石 駿汰	全国高等専門学校体育大会	陸上競技	第54・56・57回	出場
	勝真 海音	日本学生選手権水泳競技大会	2022年度・2023年度	出場	他
	山田 怜奈	全国高等専門学校弓道大会	第8・9回	出場	

特別賞ロ(25名)

第54回全国高等専門学校 ラグビーフットボール大会 優勝(24名)	機械工学科5年	福田 僚汰
	電気工学科5年	甲元 陸羽
	電子制御工学科5年	浅草 颯矢
	機械工学科4年	江口 開 喜多 拳世 野田 和成
	電子制御工学科4年	中村 大陽
	物質化学工学科4年	山本 莉久
	機械工学科3年	南崎 壽伸
	電気工学科3年	宮川 匠
	機械工学科2年	岡本 優誠 小泉 心護 丸本 隼大 宮下 翔
	電気工学科2年	小川 正悟
	情報工学科2年	佐藤 清正
	機械工学科1年	上尾正太郎 垣本 祥吾
	電気工学科1年	八方 悠斗 中原 颯蓮 松村 奏佑
	電子制御工学科1年	前田 篤彦
	物質化学工学科1年	高木 啓達 森川 温史

レスリングJOC杯
ジュニアクイーンズカップ
U20大会 第2位
・U20アジア選手権出場

機械工学科3年 石田 眞子

特別賞ハ(1名)

公益社団法人日本設計工学会
学会誌「設計工学」
表紙デザインコンテスト
最優秀賞

機械工学科5年 川崎孝太郎

特別賞ニ(2名)

登校途中に怪我をしていた
児童を救護

機械工学科1年 福田 志乃 山本 玲寧

令和5年度修了生

専攻科研究優秀賞(5名)

システム創成工学専攻機械制御システムコース
宇野 耀 藤原 順平
システム創成工学専攻電気電子システムコース
徳田 晴哉
システム創成工学専攻情報システムコース
吉岡 春彦
物質創成工学専攻 大井 佑莉

令和5年度 英語学習表彰者

英語学習表彰制度

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。令和5年度は計23名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞

本科生・専攻科生のうちTOEICスコア735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞

本科生・専攻科生のうちTOEICスコア605点以上または英検2級に合格した者

英語学習優秀賞(10名)

電子制御工学科2年	中山 洲里
電子制御工学科3年	神元 詞結
物質化学工学科3年	ポルフ フラン
電気工学科4年	前田 稀央
電子制御工学科4年	向井 悠馬
物質化学工学科4年	大谷 創志
物質化学工学科5年	(氏名非公表)
物質化学工学科5年	山本くるみ
システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年	宇野 耀
物質創成工学専攻2年	中村 烈

英語学習奨励賞(13名)

機械工学科1年	家藤 幸大
電気工学科2年	小野 一侯
情報工学科3年	奥田 祥太
情報工学科3年	升岡 瑞葉
情報工学科3年	(氏名非公表)
機械工学科4年	江口 開
機械工学科4年	岡本 圭太
機械工学科4年	田丸涼太郎
物質化学工学科4年	山東 新生
情報工学科5年	島岡 宏彰
物質化学工学科5年	勝真 海音
システム創成工学専攻 電気電子システムコース2年	梶原 嵩史
システム創成工学専攻 情報システムコース2年	堀川 康生



グローバル教育センター長の松井です。

本センターでは、皆さんのグローバルマインドを高めるための様々な活動を行っています。

たとえば、高専在学中に海外留学してみたいと考えている人はいますか。

「トビタテ!留学JAPAN」は文部科学省が行っている留学促進キャンペーンで、毎年数名がチャレンジしています。

いきなり「留学」というのはちょっとハードルが高いな、と思う人も少なくないかもしれません。そんな人にお勧めなのは、グローバル教育センターが実施している国際交流イベントに参加することです。奈良高専は複数の海外協定校をもっていて、年に数回、短期訪問等の受入を行っており、校外外(奈良、大阪、京都など)を案内するプログラムをもっています。これらは誰でも参加できますし、一定の条件をクリアすれば「異文化交流I~V」の単位認定を受けることができます。ちなみに、令和5年は、香港、シンガポール、韓国、タイからの短期訪問を受け入れました。

また、奈良高専には学生を海外に派遣する独自のプログラムもあります。令和6年2月にはタイ、3月にはシンガポールへの派遣が待っています。これらに参加した人は、「海外協働研修I~V」の単位認定を受けることができます。

じつは、今、国立高専機構では「グローバルエンジニア」の養成に力を入れており、経済的な支援も行っていきますので、皆さんがグローバルマインドを高めるには絶好の機会です。

昨年は、これ以外にも他高専や国立高専機構が主催するイベントやプログラムに参加する人がいました。グローバル教育センターはそういった皆さんの国際交流をサポートしています。何か聞きたいことがあれば、遠慮なく図書館棟1階の国際交流係に来てください。若い間にグローバルな視野を獲得することはあなたの人生をきっと豊かにすると思います。



リパブリック・ポリテクニク(シンガポール)の学生たちと(令和5年9月27日)

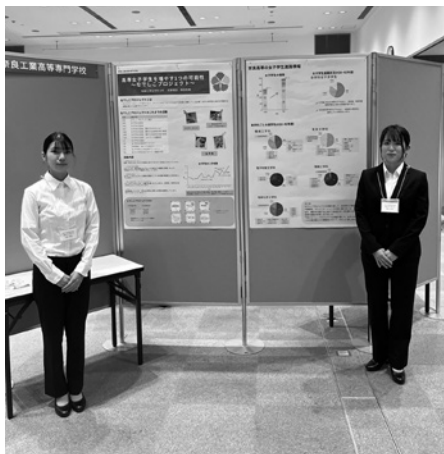
高専女子フォーラムでの発表を通して

物質化学工学科4年 笹田 和希・天野 萌衣

私たちがでしこプロジェクトは、“女性であることが強みになり、みんなが笑顔で過ごせるようになりますように”という目標の下活動を行うダイバーシティ推進委員会のプロジェクトです。

奈良高専の女子学生の割合を増やすことを目的に、女子小中学生を対象とした公開講座の実施やSNSでの情報発信、フォーラムなどでの発表を行っています。

昨年9月に実施された高専女子フォーラムでは、なでしこプロジェクトから3つのポスター発表を行いました。高専女子フォーラムは、女子高専生の実力を社会に向けて発信し、女性技術者の活躍推進について企業と高専関係者が共に考える場として全国各地で開催されているフォーラムです。女子中学生や保護者、企業関係者等を対象に、高専での学習内容や学生生活、課外活動紹介などの発表を行います。



私たちは学生生活紹介の1つとして、奈良高専の女子学生の増加率や、学科ごとの進学先・就職先についての発表を行いました。発表資料の作成を通して、過去の様々なデータを知ることができ、自身の進路について考えるきっかけとなりました。発表の際は、女子小中学生や保護者の方々積極的にコミュニケーションをとることを心掛けました。その中で、学校生活の様子や通学手段、イベント行事、入試についての質問が多く、実際に受験生がどのような情報を必要としているのかを知ることが出来ました。女子学生が少ない学科についての情報発信に力を入れるなど、今後のSNSの投稿作成等の参考になりました。

企業発表では高専を卒業した方々のお話を伺い、高専で学んだ専門知識が様々な分野で活かされていることを改めて実感しました。また、同じように女性の活躍推進の取り組みをしている企業の方ともお話することができ、貴重な経験をする事が出来ました。

今年度は、高専FESでの発表や入試説明会での相談会、公開講座などの活動を行いました。これらの経験を来年度の活動にも活かしていきたいです。



本校では、交通法規や学校で定めた交通ルールの規則等を遵守することを前提として自転車通学を認めています。自転車運転時の危険な行為は、自分の生命を危険にさらすだけでなく、他の人々の生命を脅かす行為です。令和5年度(12月まで)に確認された違反の一例を以下に示します。

- ・イヤホンやヘッドホンを着用しながらの運転(32件)
- ・スマートフォンを操作しながらの運転(6件)
- ・信号無視(6件)
- ・斜め横断／右側通行(6件)
- ・停車バスの右側から追い越し(4件)



令和4年度と比べて大きく増えている違反があり、みなさんの交通ルールの規則等を守ることにに対する意識が薄れていると感じます。このままでは、大きな事故につながる懸念され、みなさんの意識を改善することが重要と考えています。「情けは人のためならず」の言葉を借りれば、自分が交通ルールを遵守することで周りの人の生命を守ることは、巡り巡って周りの人も交通ルールを遵守し自分の生命を守ってくれることにつながります。周りの人の為にも、自分だけなら違反してもいいだろうといった考えを改めて、ルールを遵守してほしいと思います。遵守してほしい自転車通学のルールは「学生生活のしおり」に記載されていますので、確認してください。

また、関連事項として、自転車での自損事故や相手のある事故も多数確認されています。幸い大きな怪我にはつながっていませんが、自分の生命を守るためにもヘルメットを着用し、安全運転に努めてください。

学生支援センターから

カウンセラーだより

9年間、
たくさん出会って
学びました

カウンセラー
(臨床心理士・公認心理師)
福田 道代



2015年から週1日火曜日にカウンセラーとして勤務した日々は、3月で終わります。この間カウンセリングルームで出会ったのは92名。それぞれ個別の背景・事情・環境があるため、まとめて特徴を述べるのは不可能ですが、最後に思うのは、「高専での学びは、人に役立つためのもの」という外へ向けての活動が中心であり、そのためか思う以上に「人との関係」に敏感になりすぎてしんどくなる人が多かった、ということです。

人との関係が良好な場合は、外へ向けての活動が心置きなくできますが、人との関係や活動に不具合を感じた時、内へ向かう(自分について考える)前に、行動や症状としてしんどくなった話を聞いてきた気がします。気持ちの外に向かうこと、内に向かうこと、どちらも大事です。不具合を感じたときはどちらか一方に偏りすぎていることも考えられます。そんな時誰かに「話す」ことで道は開けます。これからも、カウンセリングで「話す」ことで勉学や研究が進み、誰かの役に立てる人が増えることを、この場を離れても期待しています。今まで出会っていただきありがとうございました。

ソーシャルワーカーだより

学生支援ルーム
スタッフ紹介

スクールソーシャルワーカー
(社会福祉士・公認心理師)
佐々木 理恵



学生支援ルームでは毎日の生活の中で困った事や心配な事についてお話を聞かせていただき、一緒に対応方法について考えさせていただいています。

部屋の中には、お昼ご飯を食べたり、静かに過ごしたいという時に利用できるスペースもあります。学校の中の居場所として活用してください。

また、今年度からは、コミュニケーションが苦手だったり、新しい環境や仲間のところに飛び込むことに不安を感じる学生さんたちを対象に、保護者と相談の上、外部機関と連携し、学校とは異なる環境下で活動してもらおう取り組みを試行的に始めました。ちょっと興味があるけれど、不安だという方は、ぜひ一度、支援ルームまでお越しください。



優勝！ 全国高専ラグビーフットボール大会

5年電気工学科 甲元 陸羽

私たちラグビー部は、1月4日から開催された全国高専ラグビーフットボール大会で、2大会ぶり6回目の全国優勝を果たすことができました。昨年度、優勝できなかった悔しさを忘れずに、この1年間を過ごしてきました。昨年のチームを越えるためにと試行錯誤を繰り返し、部員それぞれが自分自身で決めた目標に対して、1年間やり切ることができました。ウエイトトレーニングや自主練習も積極的に取り入れ、一人ひとりが全国制覇をするために努力しました。また、今年度はコロナウイルスによる制限も緩和され、これまでよりも練習試合やミーティングの機会を増やすことができました。仲間とともに時間を共有していく中で、より絆が深まったと感じています。時には厳しい練習もありましたが、全員で乗り越え、決勝の舞台では最高の景色を見ることができました。頑張ってくれた仲間たちには本当に感謝しています。

優勝できたことは、保護者の方々やOB、そして学校関係者の皆様の理解や支援のおかげです。改めて、お礼申し上げます。また、何不自由なくラグビーに没頭できる環境に感謝し、来年度も全国優勝に向けて頑張っていきます。これからも応援よろしくをお願いします。



キャンパスメンバーズ制度 是非ご利用ください

本校では、奈良国立博物館との連携による「キャンパスメンバーズ制度」を導入しています。

学校と国立博物館が連携を図ることによって、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供すること、世界遺産や美術に親しむ機会を増やすことで、より豊かな教養と感性を身につけていただくことを目的としています。

本校学生・教職員が学生証・職員証を提示することで、以下の特典を受けることができますので、是非この制度をご活用ください。

- 主な特典 ● 平常展・特別陳列の無料観覧
● 特別展の観覧料金割引 など

特別陳列「空海 KŪKAI 一密教のルーツとマンダラ世界」

会期：令和6年(2024)4月13日(土)～6月9日(日)

※前期展示：4月13日(土)～5月12日(日)

後期展示：5月14日(火)～6月9日(日)

※本イベントについては学生及び教職員は無料で観覧できます。

近畿・全国高専英語プレコンの 参加報告

電子制御工学科1年 田原 きよら

私が本大会の出場を決めた理由は、障害のある弟を持つ当事者として、未来の技術者が多く集まる場で発表することで、障害問題の解決に役立つ研究・技術開発、様々な分野の連携のあり方等を考えるきっかけとなるのではないかと考えたためです。

本大会には本科1年生から専攻科2年生までの幅広い年齢の高専生が出場するため、様々な分野・視点のプレゼンテーションをお互いに聞くことができます。そのため、英語を使ったプレゼンテーション能力を養うだけでなく、現在問題になっていることを視野を広げて考える非常に良い機会となりました。大会終了後には審査員からの講評、他高専との交流会があり、プレゼンテーション内容について深く学びを広げることができました。今回学んだことを通じて、日々の学びに繋がれるよう努めたいです。

(近畿大会シングル部門5位)

電気工学科3年 星野 百奈

私は第17回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストのシングル部門に参加しました。私が発表したテーマは、最近注目されている髪の毛の寄付、ヘアドネーションについてでした。発表にあたって私が一番大切にしたいことは、自分の伝えたいことを分かってもらうために感情を込めて審査員をはじめ観客全員に訴えかけるように話す事です。発表中にアイコンタクトをとり、真剣な表情と笑顔を適度に切り替えることで、聞く人を引き付ける発表が出来たと思います。今回、入賞することは出来ませんでした。発表態度はもちろん、昨年からの課題であった発音も褒めて頂き、自分の成長を感じられる経験になりました。

(近畿大会シングル部門2位、全国大会出場)



卒業記念品の寄贈

令和5年度卒業生の皆さんから卒業記念品として「屋外音響機器一式」を寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



編集後記

本科卒業・専攻科修了される皆さん、本当におめでとうございます。本号では、皆さんの声を取り上げていますが、楽しかったこと、大変だったことなどを仲間と分かち合い、在学中に大きく成長されていることがわかります。また、各大会等における学生の輝かしい活躍も紹介しています。次年度、奈良高専は60周年を迎えます。この節目の年にも、笑顔とともに活動に励む在学中の学生の様子を多くの皆様にお伝えしたいと思います。

奈良高専広報センター

CAMPUS
について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。